令和５年度　　**数学A**　　１１　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	レポート提出回数	義務時数	試験回数
選択	2	6	2	2

教　科　書	学習書・副教材等
新数学Ａ（東京書籍）	ニューファースト数学Ａ（東京書籍）

学　習　目　標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)　図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。

学　習　内　容

（前期試験範囲）

１章　場合の数と確率

１節　場合の数　（第１，２回レポート）

２節　確率　（第２，３回レポート）

（後期試験範囲）

３章　数学と人間の活動

１節　数や位置を表す　（第４回レポート）

２節　数のつくりを調べる　（第５回レポート）

３節　はかる　（第６回レポート）

４節　数学で遊ぶ

学　習　方　法

・レポート

レポートの問題は，教科書の例題，ステップノートの問題を中心に作ってあります。計算過程は残しておいてください。期限内に提出できるように計画的に学習を進めましょう。

・スクーリング

教科書の内容を，レポートの提出期限に合わせて解説します。数学は自学自習ではなかなか理解できない教科です。義務時数に関わらず，積極的に出席し理解を深めましょう。

・定期考査

前期，後期それぞれ１回ずつ実施します。

評　価　方　法

レポートの提出状況，スクーリングの出席状況，定期考査の成績を総合して評価します。
レポートの評価は次の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 ・事象を数学化したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 ・数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

担　当　者　よ　り　一　言

教科書やニューファーストを活用しながら，理解を深めてください。レポートは，答えだけをかくのではなく，計算過程をしっかりとかいてください。（かいていないと減点になることもあります。）提出期限に間に合うように，計画的に学習してください。